

令和2年度
事業報告書
収支決算書

令和3年3月31日（水）



栗原市農泊推進協議会

～ 目 次 ～

I 事業報告	2
1 目的	2
2 実施事業	3
(1) ネットワーク化・コミュニケーションの実践	3
(2) 宿泊・飲食事業の機会創出とサポート	5
(3) 農産物等の販売促進	9
(4) 体験プログラム創出	10
(5) サイクルツーリズム推進	12
(6) PR	13
(7) 地域おこし協力隊	13
(8) その他	14
3 実施体制	16
II 収支決算	17
1 収入の部	17
2 支出の部	18
【参考】 国立・国定公園への誘客の推進事業費及び国立・国定公園、温泉地 でのワーケーションの推進事業費補助金（環境省）	19

I 事業報告

1 目的

2カ年度にわたる農山漁村振興交付金を活用した事業の成果を踏襲しながら、今年度から新たな体制を構築し、事業に取り組む。栗原市における農泊推進事業を「栗原市の地域資源を活用した滞在型の旅の創出」と定義し、目的を達成するための事業を実践する。

(1) テーマ

- ①地域内ネットワークを拡充し、コミュニケーションを強化することで事業を連携する
- ②新型コロナウイルス感染症に対応した事業実施に取り組む
- ③農泊推進事業を実施するためのプラットフォームとして利用価値のある組織を目指す

(2) 概要

①地域内ネットワークの拡充とコミュニケーション強化

新しい組織体制により、ネットワークを生かした会員の連携により、各会員の事業の充実をはかることを念頭におき事業に取り組んだ。運営部会、宿泊部会や会員と事務局との個別の連絡調整によりコミュニケーションをはかったことにより、会員主体の事業への協力や民泊のレジャー活用などの事業に着手できた。また、会員の意向を聴く機会をもうけたことにより、次年度以降の具体的な連携につながる活動が行えた。

②コロナ禍に対応した事業実施

コロナ禍に対応した事業実施として、民泊を核とした若年層の受入を実施し、効果を得ることができた。また、環境省事業や行政からの受託事業によりアドベンチャーツーリズムの創出にくりこま高原自然学校と連携して取り組み、体験プログラム（アクティビティ）・ツアープログラムを開発した。次年度から具体的な商品造成に取り組む基礎を築くことができた。

③プラットフォーム

アドベンチャーツーリズム創出、民泊活用等の機能により、行政や各団体にとって利用価値のある事業に取り組めた。質、量ともに今後さらに充実を図っていく。

2 実施事業

(1) ネットワーク化・コミュニケーションの実践

①宿泊部会

○第1回宿泊部会

- ・日時：2020年8月5日(水) 13:00~15:00
- ・場所：こんちゅう館(栗原市サンクチュアリセンターつきだて館)
- ・出席者：5人(会長、部会員4人)
- ・内容：部会長の選出、事業の相談(民泊のレジャー利用)

②運営部会

協議会の運営の検討と情報共有のため、Facebookに運営部会のグループページを作成し、情報共有・交換を実施している。

○Facebookグループページ

- ・開設：2020年7月6日(月)
- ・メンバー：27人
- ・投稿内容：助成金の周知、助成金の申請・採択状況、セミナー等の周知 など

③会議

実施日	事業名	備考
6月8日(月)	第1回運営会議(役員会)	
6月22日(月)	第2回運営会議(役員会)	
7月6日(月)	令和2年度監査会・総会	
1月22日(金)	第1回役員会	

④会員訪問・事業相談

令和2年度から団体・個人会員が増え、地域内ネットワークが拡充された。より会員の事業の充実や連携を図るため、事務局員2名が今後やりたいことや事業の相談に伺った。

実施日	訪問先	備考
1月23日(月)	特定非営利活動法人 旧奥州街道有壁宿助郷の会	1人
3月4日(木)	一般社団法人はなやまネットワーク 栗原市企画課定住戦略室	4人
3月8日(月)	六日町合同会社 特定非営利活動法人帰園田居創生機構	2人
3月29日(月)	文字地区コミュニティ推進協議会 一般社団法人栗原市観光物産協会 栗原市地域おこし協力隊(農泊推進担当) 櫻庭伸也	4人

※宿泊施設は随時、連絡調整

⑤学ぶ機会の創出

(i) 農泊ウェブセミナー

「農泊ウェブセミナー企画運営業務」の一環として実施。コロナ禍でも新規の宿泊施設が7軒開業した岩手県遠野市を事例に、オンラインを活用した体験メニューや民泊開業に向けての具体的なマネジメントを学ぶ。

○実施体制

- ・主催：栗原市農泊推進協議会
- ・共催：一般社団法人くりはらツーリズムネットワーク
- ・後援：栗原市
- ・企画・運営：栗原市地域おこし協力隊（農泊推進担当）

○実施日時：2021年3月16日（火）15:30～17:00

○講師：認定NPO法人 遠野山・里・暮らしネットワーク
コーディネーター 田村 隆雅 氏

○参加者：オンライン10人、オフライン5人 計15人

(ii) ロングトレイルセミナー

「農泊コンテンツ充実のための調査研究業務」の一環として実施。農泊コンテンツとして「アドベンチャーツーリズム」を推進する一環で、「ロングトレイル」に注目し、「みちのく潮風トレイル」の取組みや、アメリカのアパラチアトレイルの事例を学ぶ。

○実施体制

- ・主催：栗原市農泊推進協議会
- ・共催：一般社団法人くりはらツーリズムネットワーク
- ・後援：栗原市
- ・企画・運営：栗原市地域おこし協力隊（農泊推進担当）

○実施日時：2021年3月24日（水）10:00～11:30

○講師：NPO法人みちのくトレイルクラブ 統括本部長 関 博充 氏

○参加者：オンライン6人、オフライン4人 計10人

(2) 宿泊・飲食事業の機会創出とサポート**① 田舎ホームステイ**

コロナ禍のため開催を中止し、②、⑦の取組みで代替とした。

② 長屋門ステイ Project

○実施体制

- ・主催：一般社団法人くりはらツーリズムネットワーク、東京大学林憲吾研究室
- ・共催：栗原市農泊推進協議会、くりはらファーマーズプロジェクト、ゆるい栗原大学

○実施期間：2020年3月25日(水)～2021年3月31日(水)

○内容：主催団体のコーディネートや東京大学学生メンバーの設計合宿、基本設計発表会の企画・アテンド等

実施日	内容	備考
3月25日(水)	長屋門実測調査	2人
6月20日(土)	オンラインセミナー「栗原の長屋門」開催	13人
7月1日(水) ～5日(日)	設計合宿・オンライン設計発表会の開催 (民泊やまざき・民泊大畑に宿泊)	来訪者 4人 参加者 14人
9月10日(金) ～12日(日)	温熱実験・土採取 (アネックスホテルアベに宿泊)	6人
9月12日(日)	基本設計発表会	参加者 3人
11月30日(月)	木質構造・茅葺屋根調査	8人
12月14日(月)	床・土台等の実測調査	4人
3月25日(木) ～28日(日)	「長屋門ステイ Project の軌跡展」開催	100人

③ 日々農々時 (ひびのうときどき) プロジェクト

○実施主体：一般社団法人栗原市観光物産協会、栗原市農泊推進協議会

- ・協力：文字地区コミュニティ推進協議会、栗原市
- ・内容：誰でも気軽に山村暮らしを体験出来るフィールドを作るため、栗駒文字地区において拠点施設(放森古民家)、農家民泊候補施設(櫻庭宅古民家)等の整備を重点的に行い、それらに付随してイベントを開催した。

月日	内容	備考
8月22日(土) ～23日(日)	民泊開業に向けた家屋の片付け支援	4人
8月29日(土) ～9月2日(水)	「おてつたび」モニタープログラム受け入れに向けた体験プログラム調整	2人
9月3日(木)	民泊開業に向けた家屋の片付け支援	2人
9月4日(金) ～6日(日)	拠点施設「放森」片付け	
9月8日(火) ～15日(火)	「おてつたびプラン@新たな農山村体験コンテンツづくりをお手伝い」体験プログラム実施	4人
9月19日(土) ～21日(月)	民泊開業に向けた家屋の片付け支援	2人

月日	内容	備考
9月21日(月)	草刈り機体験	2人
9月30日(水)	古民家改修WS「天井貼り」	2人
10月14日(水)	枯れ草で焼き芋づくり体験	1人
10月18日(日)	枯れ草で焼き芋づくり体験	2人
10月18日(日)	芋煮会体験	9人
10月18日(日)	民泊開業に向けたホームステイ体験	2人
11月2日(月)	薪ストーブ体験	1人
11月3日(火)	古民家暮らし体験	2人
11月21日(土) ~24日(火)	民泊開業に向けた家屋の片付け支援	3人
11月22日(日)	民泊開業に向けたホームステイ体験	2人
12月4日(金)	古民家暮らし体験	2人
12月12日(土)	薪ストーブ設置体験	3人
12月14日(月)	アドバイザーによる民泊経営アドバイス 「文字地区訪問によるキープレイヤーヒアリング」	1人
1月12日(火) ~14日(木)	民泊開業に向けたホームステイ体験	1人
1月25日(月)	アドバイザーによる民泊経営アドバイス 「SNSを活用した集客マーケティング」	1人
2月11日(木)	栗原市スノーアドベンチャー創出事業 スノーアドベンチャーライド Vol.1 How to SnowMobile	2人
2月14日(日)	栗原市スノーアドベンチャー創出事業 スノーアドベンチャーライド Vol.1 How to SnowMobile	3人
2月15日(月)	アドバイザーによる民泊経営アドバイス 「年間体験カレンダーづくり」	1人
2月19日(金)	薪づくり体験	1人
2月23日(火) ~24日(木)	民泊開業に向けたホームステイ体験	2人
3月4日(木)	アドバイザーによる民泊経営アドバイス SNSを活用したユーザ意見を踏まえた宿名の決定	1人
3月4日(木)	民泊開業に向けた女性意見のマーケティング調査	3人
3月4日(木)	令和2年度栗原市地域おこし協力隊文字活動拠点施設 管理業務 拠点施設「放森」片付け・清掃	2人
3月15日(月)	全国農協観光協会による民泊経営訪問アドバイス	2人
3月15日(月) ~17日(水)	令和2年度栗原市地域おこし協力隊文字活動拠点施設 管理業務 拠点施設「放森」片付け・清掃	延べ 10人
3月16日(火)	アドバイザーによる民泊経営アドバイス 「収益を大事にした事業計画書づくり」	1人
3月16日(火)	栗原市スノーアドベンチャー創出事業 Let'sCamp!!キャンプ初心者相談会①	3人
3月17日(水)	栗原市スノーアドベンチャー創出事業 Let'sCamp!!キャンプ初心者相談会②	2人
3月20日(日)	栗原市スノーアドベンチャー創出事業 Let'sCamp!!キャンプ初心者相談会③	1人
3月25日(木)	脱衣所制作ワークショップ	2人
3月25日(木) ~26日(金)	民泊開業に向けた女性ホームステイ体験	2人

④旅行商品造成

様々な地域から集まる大学生が1週間地域に滞在し、仕事のお手伝いや地域の方々との交流を行う栗原市企画課定住戦略室の事業「おかえり栗原」のプランとして、栗駒文字地区での民家キャンプ、サイクルロゲイニング、苔テラリウム作り等のアクティビティモニタープランを企画。実際に体験してもらい、商品化に向けたフィードバックを頂いた。

○実施体制

- ・主催：一般社団法人栗原市観光物産協会
- ・共催：栗原市企画課定住戦略室
- ・企画・運営：栗原市農泊推進協議会

○実施期間：2020年9月8日（火）～15日（火）

○参加者：4人

⑤開業応援講座(宿泊・飲食)

栗原市内の農家民宿・民泊等の視察と関係法令の講座を通して、開業希望者の開業イメージの確立をサポートする。

○実施体制

- ・主催：栗原市農泊推進協議会
- ・共催：一般社団法人くりはらツーリズムネットワーク
- ・後援：栗原市
- ・企画運営：栗原市地域おこし協力隊（農泊推進担当）
- ・参加者：7人 ※スポット参加も有り
- ・内容：

実施日	事業名	備考
2月3日（水）	第1回講座「農家民宿（別棟）と飲食店」 （見学先）ファームインかわせみ	3人
2月17日（水）	第2回講座「民泊（住宅宿泊事業法）」 （見学先）民泊やまざき、民泊大畑	4人
3月3日（水）	第3回講座「関係法規（開業予定の施設見学）」 （講師）栗原保健所食品薬事班 佐々木多栄子 氏 （見学先）地域おこし協力隊 櫻庭伸也宅	9人
3月17日（水）	第4回講座「農家民宿（母屋）と飲食店」 （見学先）農家民宿と心の料理有賀の里たかまった （講師）遠野 山・里・暮らしネットワーク コーディネーター 田村隆雅 氏	4人

⑥ 応急手当講習会

応急救護の手当の訓練プログラム「MFA（メディック・ファーストエイド）」の講習。成人の救命法（CPR や AED）と救急法（一般的な応急手当）を身につける。

○実施体制

・主催：一般社団法人くりはらツーリズムネットワーク、栗原市農泊推進協議会

○日時：2021年3月22日（月）9:00～17:30

○会場：こんちゅう館（栗原市サンクチュアリアセンターつきだて館）

○講師：くりこま高原自然学校 校長 塚原俊也 氏

○参加者：11人

⑦ 民泊宿泊のコーディネート

様々な地域から集まる大学生が1週間市内に滞在し、仕事のお手伝いや地域の方々との交流を行う栗原市企画課定住戦略室の事業「おかえり栗原」。滞在期間の中で、民泊・民宿等への宿泊1泊分を組み込んでもらい、当会で宿泊の斡旋や調整、体験メニューを企画・運営した。

実施日	事業名	備考
7月27日（月） ～28日（火）	おかえり栗原プラン@湖畔のみせ旬彩&筒井農園プラン ※民泊大畑	3人
8月19日（水） ～20日（木）	おてつたびプラン@湖畔のみせ旬彩のお手伝い ※民泊大畑（しそ巻きづくり体験）	2人
9月12日（土） ～13日（日）	おてつたびプラン@新たな農山村体験コンテンツづくり をお手伝い ※民泊大畑（牛のエサやり・しそ巻きづくり体験）	4人
10月30日 （金） ～31日（土）	おてつたびプラン@くりはらファーマーズプロジェクト イベントのお手伝い ※民泊大畑（くるみ餅づくり体験）	3人

(3) 農産物等の販売促進

①くりはら秋の大収穫 2020

栗原市内や仙台市、東京都内の飲食店で、栗原市産の食材を使ったオリジナル料理を提供する飲食フェアを実施した。

○期間：2020年10月30日(金)～11月15日(日)

○実施体制：

- ・主催：栗原市農業振興協議会
- ・共催：一般社団法人東北食のカプロジェクト、
くりはらファーマーズプロジェクト
- ・後援：栗原市、栗原市農泊推進協議会
- ・協力：東北絆テーブル

○参加店：参加店:69店(栗原市9店、仙台市57店、東京都3店)

②伊豆沼レンコンフェア 2021

栗原市や仙台市の飲食店で、伊豆沼レンコンを使用した料理を提供する飲食フェアを実施した。

○期間：2021年2月15日(月)～3月7日(日)

○実施体制

- ・主催：栗原市農業振興協議会
- ・共催：一般社団法人東北食のカプロジェクト、
くりはらファーマーズプロジェクト
- ・後援：栗原市、栗原市農泊推進協議会
- ・協力：東北絆テーブル

○参加店：33店(栗原市4店、仙台市29店)

(4) 体験プログラム創出

①体験プログラムの開発・実施

実施日	事業名	備考
10月11日(日)	暮らしの手作り教室「アップルパイ」	6人
10月25日(日) ～12月27日(日)	くりはら博覧会“らいん”2020秋冬(12種類)	77人
2月4日(木)	暮らしの手作り教室「橙マーマレード」	5人
2月24日(水)	たかまったの家庭料理「手づくりがんも」	6人
2月26日(金)	暮らしの手作り教室「ケールのスパイスカレー」	6人
3月6日(土)	伝えたい発酵食の魅力「十割麴味噌」①	5人
3月7日(日)	伝えたい発酵食の魅力「十割麴味噌」②	3人
3月8日(月)	伝えたい発酵食の魅力「十割麴味噌」③	5人
3月13日(土)	スノーハイクとイグルー	7人
3月23日(火)	トレイルハイキング#1 旧奥州街道有壁宿	11人

【くりはら博覧会“らいん”2020秋冬】

○実施期間：2020年10月25日(日)大安～12月27日(日)大安

○実施回数：12種類15回 ○参加者数：77人

実施日	体験プログラム名	備考
10月25日(水)	陶芸教室「世界に一つだけの作品作り」①	5人
10月25日(水)	陶芸教室「世界に一つだけの作品作り」②	5人
11月1日(日)	伊豆沼レンコンを収穫しよう「レンコンの収穫」	6人
11月3日(火)	地元食の博覧会「秋の大収穫祭会席」	7人
11月4日(水)	地元をおいしく歩こう「ノルある部(花山本沢編)」	6人
11月10日(火)	花山産そば粉100%「そばシフォンケーキ」	6人
11月18日(水)	秋の枝葉で染めよう「草木染め」	6人
11月21日(土)	麦わらモバイル「ヒンメリ」	1人
11月22日(日)	暮らしの手作り教室「ぶどうパン」	6人
11月28日(土)	打ち方、ゆで方、つゆ作り「本格そば打ち体験」	4人
12月1日(火)	保存食の作り方と食べ方「ジャバラ切り干し大根」	中止
12月6日(日)	同じそばの実から田舎・藪・更科「三種のそば食べ比べ」	7人
12月25日(金)	暮らしの手作り教室「ローストチキン」①、②	6人
12月27日(日)	藁文化ワークショップ「しめ飾り」①、②	12人

②民泊施設の日帰りレジャー企画「民泊で遊ぼう！」

コロナ禍で民泊への宿泊客が減少したことを受け、「宿泊」だけでなく「日帰りレジャー」という目的を付加するために実施。2軒の民泊を会場に、自家製の野菜を使った料理体験や、農作業体験を行った。「くりはら博覧会“らいん”2020秋冬」の一環として実施した。

○実施期間：2020年11月1日（日）～11月30日（月）

○実施回数：2種類8回（民泊大畑5回、民泊やまざき3回）

○参加者数：32人（民泊大畑22人、民泊やまざき10人）

月日	内容	備考
11月8日(日)	焼き芋やスイーツづくり「サツマイモパーティー」 (主管：民泊大畑)	5人
11月16日(月)	畑で収穫「ワイワイ芋煮会」(主管：民泊やまざき)	3人
11月19日(水)	焼き芋やスイーツづくり「サツマイモパーティー」 (主管：民泊大畑)	3人
11月21日(土)	畑で収穫「ワイワイ芋煮会」(主管：民泊やまざき)	3人
11月23日(月)	焼き芋やスイーツづくり「サツマイモパーティー」 (主管：民泊大畑)	7人
11月23日(月)	畑で収穫「ワイワイ芋煮会」(主管：民泊やまざき)	4人
11月25日(水)	焼き芋やスイーツづくり「サツマイモパーティー」 (主管：民泊大畑)	3人
11月29日(日)	焼き芋やスイーツづくり「サツマイモパーティー」 (主管：民泊大畑)	4人

③アドベンチャーツアー「栗駒国定公園 Bike×Mountaineering」

「国立・国定公園への誘客の推進と収束までの間の地域の雇用の維持・確保事業費等補助金」の事業「栗駒国定公園アドベンチャーツーリズム創出事業」の一環として実施。

○実施体制

- ・主催：一般社団法人栗原市観光物産協会 ・共催：栗原市農泊推進協議会
- ・主管：一般社団法人くりはらツーリズムネットワーク
- ・協力：くりこま高原自然学校

○実施日時：2020年10月19日（月）14:00～20日（火）17:30

○内容：サイクリングと栗駒山登山のアドベンチャーツアー

- ・サイクリング：走行距離約102km（1日目約48km、2日目約54km）
獲得標高約1520m（1日目約930m、2日目約590m）
- ・登山：東栗駒コースー中央コース
- ・宿泊：くりこま高原自然学校

○参加者：4人

○旅行代金：5,000円／人

(5) サイクルツーリズム推進

①くりくりサイクリングクラブ

栗原市のサイクリングフィールドのPRとサイクリングファンの獲得を目的に少人数制のサイクリングイベントを実施した。

○実施体制

- ・主催：一般社団法人くりはらツーリズムネットワーク
- ・共催：栗原市農泊推進協議会

○実施状況

月日	内容	備考
6月14日(日)	グラベルミーティング Vol.3 「一迫グラベルライド」	6人
7月26日(日)	農村サイクリング「伊豆沼・内沼一周とはすまつり」①	6人
8月4日(火)	農村サイクリング「伊豆沼・内沼一周とはすまつり」②	2人
8月9日(日)	農村サイクリング「伊豆沼・内沼一周とはすまつり」③	雨天中止
9月22日(火)	農村サイクリング「秋の伊豆沼・内沼一周」	4人

②ツール・ド・いちはさま

事前に推奨コースを公開し、チェックポイント4カ所をまわるスタンプラリー形式のファンライドイベント。受付、参加者のチェックポイント通過状況の管理等を担当し、イベント実施をサポートした。

○実施体制

- ・主催：ツール・ド・いちはさま実行委員会
- ・共催：くりはらファーマーズプロジェクト、一迫林業研究会、
栗原市農泊推進協議会、一般社団法人栗原市観光物産協会

○開催期間：2020年10月24日(土)～31日(土)

○参加者数：60人

③レンタサイクル

サイクルツーリズムを活用して地域経済を活性化させるため、くりこま高原駅等を拠点に自転車のレンタルを実施した。

○実施主体：一般社団法人栗原市観光物産協会

○レンタル車両：ミヤタ自転車 RIDGE-RUNNER (リッジランナー) 4台

○料金：1,000円/2時間、3,000円/日(4時間以上)

○期間：2020年4月1日～10月20日 ※リース期間終了のため

○利用状況：32人(窓口10人、イベント22人)

(6) PR

① SNS (Facebook)

Facebook ページにより事業や取り組みや参画団体の事業のシェアやPRを行った。

② 情報提供

関係機関への情報提供や、報道機関等の対応を行った。

月日	内容
9月22日(火)	『河北新報』朝刊「長屋門ステイ Project」掲載
10月25日(日)	『河北新報』朝刊「ツール・ド・いちほさま」掲載
10月29日(木)	『河北新報』朝刊「くりはら秋の大収穫祭 2020」掲載
11月12日(木)	『河北新報』朝刊「民泊で遊ぼう！」掲載
11月21日(土)	『大崎タイムス』「民泊で遊ぼう！」掲載
2月10日(水)	栗原市・登米市対象の農泊民泊研修会(主催:宮城県) ※パネルディスカッションコーディネーター
2月14日(日)	『河北新報』朝刊「伊豆沼レンコンフェア 2021」掲載
3月7日(日)	『大崎タイムス』「開業応援講座」掲載
3月13日(土)	『大崎タイムス』「農泊ウェブセミナー」掲載
3月28日(日)	『河北新報』朝刊「長屋門ステイ Project の軌跡展」掲載

(7) 地域おこし協力隊

令和元年10月に栗原市が任用した2名の地域おこし協力隊(農泊推進担当)と協力し、各事業を実施した。

氏名	主な担当事業	備考
櫻庭 伸也	<ul style="list-style-type: none"> ・PR(イベント、Web、SNS等) ・旅行商品造成 	(一社)栗原市観光物産協会
狩野 夏穂	<ul style="list-style-type: none"> ・体験型コンテンツの企画、開発 ・人材(宿泊等事業者)の育成、支援 	(一社)くりはらツーリズムネットワーク

(8) その他

①受託業務

(i) 農泊コンテンツ充実のための調査研究業務

農泊推進の一環として、コロナ禍を意識して自然資源を活かした魅力的なアクティビティを少人数のグループや個人旅行者向けに開発することを目的とする。

○業務内容：自然資源を活用したアクティビティを5件以上開発する。アクティビティ開発のための調査として、関係者を対象とした学ぶ機会を1回以上開催する。

○契約期間：2021年1月27日（水）～3月26日（金）

○契約金額：460,900円

○委託者：栗原市（農林振興部農業政策課）

○成果：ロングトレイルセミナーの開催、トライアルイベント「トレイルハイキング#1 旧奥州街道有壁宿」開催、アクティビティ開発5件

(ii) 農泊ウェブセミナー企画運營業務

栗原市民を対象に先進事例を学ぶオンラインセミナーを実施することで栗原市における農泊推進の活性化に寄与することを目的とする。

○業務内容：先進的な取り組みを実施している地域から講師を招き、オンラインセミナーを1回以上実施する。また、オフラインのセミナーをオンラインセミナーと同時に開催する。

○契約期間：2021年1月30日（土）～3月26日（金）

○契約金額：196,900円

○委託者：栗原市（農林振興部農業政策課）

○成果：農泊ウェブセミナーの開催、オンライン配信環境の整備

(iii) アドベンチャーツーリズム（冬季）実施業務

コロナ禍において観光産業を持続していくために、新しい生活様式にあわせた自然資源を生かした「アドベンチャーツーリズム」を創出することを目的とする。

○業務内容：複数の事業者が連携した冬季のアドベンチャーツーリズムの企画を3件以上立案する。トライアルイベントを1回実施し、5人以上の集客を達成する。

○契約期間：2021年2月9日（火）～3月25日（木）

○契約金額：278,300円

○委託者：栗原市（商工観光部田園観光課）

○成果：「スノーハイクとイグルー」開催、アクティビティ開発3件

(iv) 栗原市スノーアドベンチャー創出業務

コロナ禍において需要が高まっている「キャンプ」を軸とした雪のツアープログラムを実施し、新型コロナウイルス感染症の影響下でも、安心して参加できるツアーの商品化を目指すもの。

○業務内容:民家キャンプ場をベースとしたスノーキャンプの初心者講座、スノーモービルの乗り方講座を開催。

○契約期間:2021年2月9日(火)~3月25日(木)

○契約金額:460,900円

○委託者:栗原市(商工観光部田園観光課)

○成果:「スノーアドベンチャーライド Vol.1 How to SnowMobile」開催、
「Let's Camp!!キャンプ初心者相談会」開催

(v) 令和2年度栗原市地域おこし協力隊文字活動拠点施設管理業務

空き家を地域おこし協力隊の活動拠点施設として活用するため、施設の管理を行った。

○業務内容:施設の管理

○契約期間:2021年2月1日(月)~3月31日(水)

○契約金額:75,020円 ※2021年度に収入

○委託者:栗原市(農林振興部農業政策課)

②栗原市観光振興ビジョン策定委員会・ワークショップ

栗原市が策定を予定している観光振興の策定に伴い、栗原市からの依頼により委員会委員への委嘱(会長)とワークショップメンバーに当会の会員を推薦し、策定作業に取り組んだ。

○主催:栗原市(商工観光部田園観光課)

○策定委員会委員:会長 伊藤秀太(くりはらファーマーズプロジェクト)

○ワークショップメンバー:5人

小野寺晃越(一般社団法人栗原市観光物産協会)、菅原美恵(一般社団法人くりはらツーリズムネットワーク)、伊藤秀太(くりはらファーマーズプロジェクト)、杉浦風ノ介(六日町合同会社)、狩野夏穂(事務局(栗原市地域おこし協力隊))

月日	内 容	備考
8月27日(木)	第1回栗原市観光ビジョン策定委員会	会長出席
10月15日(木)	第2回栗原市観光ビジョン策定委員会	会長欠席
10月15日(木)	第1回ワークショップ	4名出席
11月13日(金)	第2回ワークショップ	5名出席
1月18日(月)	第3回ワークショップ	5名出席
1月21日(木)	第3回栗原市観光ビジョン策定委員会	会長欠席

3 実施体制

(1) 中核法人を中心とした主体事業

協議会の主体事業（主催）は、主に中核法人（一般社団法人くりはらツーリズムネットワーク）が実施した。

(2) 会員主体の事業実施

会員が実施するもので農泊推進事業に合致するものを協議会の事業（主催・共催・協賛・協力等）として実施し、中核法人等を含む会員が連携・協力して取り組んだ。

(3) 部会の設置による専門分野の特化

①宿泊部会

農家民宿（簡易宿所）・住宅宿泊事業法（民泊新法）の事業者及び新規開業を目指す人で構成し、宿泊施設のネットワーク化や知識・技術の共有、事業の連携などを実施するとともにコミュニケーションをはかる機会を創出した。

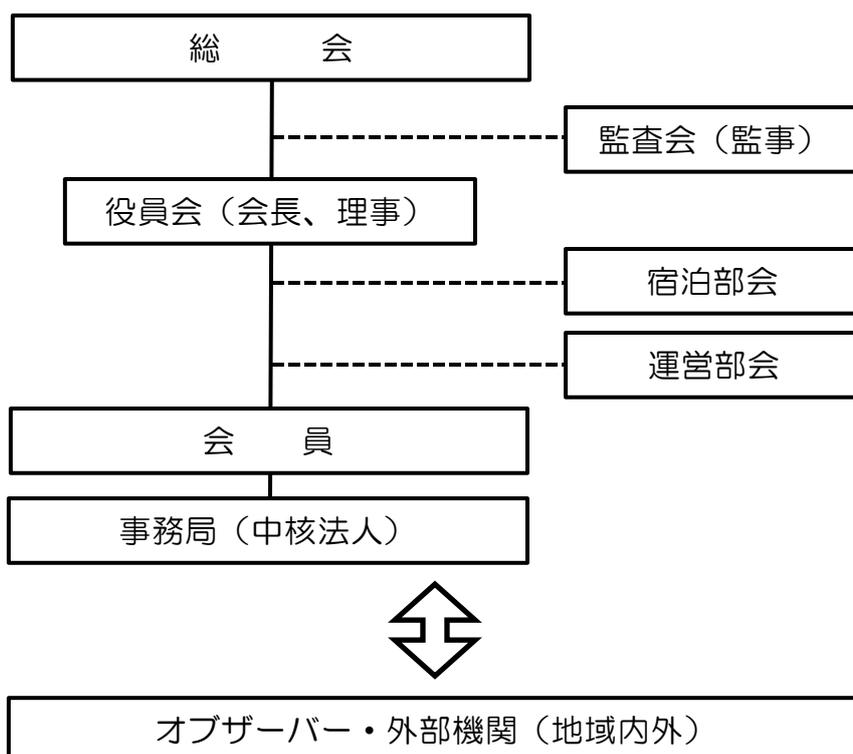
②運営部会

事業や取組みの詳細を迅速に協議するため、会員が任意で参加する Facebook グループページを設け、連絡調整を実施した。

(4) 外部機関との柔軟な連携

外部機関と連携し、各種事業を実施した。

<イメージ図>



II 収支決算

収入の部	7, 108, 951円
支出の部	7, 086, 858円
差引残金	22, 093円

※差引残金は次年度に繰越

1 収入の部

(単位：円)

No.	区分	予算	決算	差引	摘要
1	交付金	683,385	683,385	0	R1 農泊推進交付金精算払
2	負担金	0	0	0	
3	補助金	10,000,000	4,939,000	△5,061,000	国立・国定公園への誘客の推進事業費補助
4	事業収入	200,000	1,483,420	1,283,420	受託料 1,397千円(4件) 講師謝礼 12,320円(1件) その他 74,100円(6件)
5	借入金	0	0	0	
6	雑入	3,469	0	△3,469	
7	繰越金	3,146	3,146	0	2019年度より
	計	10,890,000	7,108,951	△3,781,049	

※補助金の主な内訳

(単位：円)

名称	金額	期間	交付元
国立・国定公園への誘客の推進事業費補助金	4,939,000	2020年9月9日～ 2021年2月28日	(一財)環境イノベーション情報機構 ※環境省の間接補助

※事業収入(業務委託)の主な内訳

(単位：円)

名称	金額	期間	契約先
農泊コンテンツ充実のための調査研究業務	460,900	2021年1月27日 ～3月26日	栗原市(農林振興部農業政策課)
農泊ウェブセミナー企画運営業務	196,900	2021年1月30日 ～3月26日	栗原市(農林振興部農業政策課)
アドベンチャーーツーリズム(冬季)実施業務	278,300	2021年2月9日 ～3月25日	栗原市(商工観光部田園観光課)
栗原市スノーアドベンチャー創出業務	460,900	2021年2月9日 ～3月25日	栗原市(商工観光部田園観光課)

2 支出の部

(単位：円)

No.	区分	予算	決算	差引	摘要
1	人件費	4,500,000	3,199,672	△1,300,328	事務局人件費 ※「国立・国定公園への誘客の推進事業費補助」充当
2	需用費	4,000,000	1,913,501	△2,086,499	E-Bike5台 1,294,520円 スノーハイク 442,255円 オンライン機材 132,506円
3	使用料・賃借料	200,000	128,520	△71,480	PCリース(4~8月分)
4	報償費	400,000	1,154,000	754,000	受託業務運営企画、体験指導謝礼、講師謝礼等
5	役務費	500,000	840	△499,160	切手代
6	旅費	200,000	0	△200,000	
7	租税公課費	30,000	1,000	△29,000	収入印紙
8	借入金返済	683,385	683,385	0	R1農泊推進交付金精算 栗原市観光物産協会
9	雑費	376,615	5,940	△370,675	振込手数料
	計	10,890,000	7,086,858	△3,803,142	

※人件費の主な内訳

(単位：円)

名称	金額	内訳	支払先
職員給与	2,183,992	2人(1,245円×952時間+1,058円×944時間)	(一社)くりはらツーリズムネットワーク
臨時職員賃金	1,015,680	1人(1,058円×960時間)	(一社)くりはらツーリズムネットワーク

※需要費の主な内訳

(単位：円)

名称	金額	内訳	支払先
E-BIKE FUJI FARPOINT	1,176,835	258,904円/台×5台	シナネンサイクル(株) ダイシャリン古川店
BLUEMORIS スノーハイク	442,255	40,205円×11台	(株)ブルーモリス
オンラインセミナー用機材	132,506	デジタルカメラ 96,800円、 Webカメラ 9,200円、SDカード 5,980円、ケーブル等	(株)オカザキ

※報償費の主な内訳

(単位：円)

名称	金額	内訳	支払先
栗原市スノーアドベンチャー 創出業務企画運営費	460,900	企画運営謝礼 460,900円	(一社)栗原市観光物産協会
栗原市アドベンチャーツーリズム (冬季)実施業務運営費	200,000	企画運営謝礼 18万円 +デザイン料 2万円	(一社)くりはらツーリズムネットワーク
農泊コンテンツ充実のための 調査研究業務運営費	335,000	企画運営謝礼 315千円 +デザイン料 2万円	(一社)くりはらツーリズムネットワーク

【参考】

国立・国定公園への誘客の推進事業費及び国立・国定公園、温泉地でのワーケーションの推進事業費補助金

- 事業名：栗駒国定公園アドベンチャーツーリズム創出事業
 ○事業期間：2020年9月9日～2021年2月28日
 ○交付期間：(一財)環境イノベーション情報機構 ※環境省の間接補助
 ○取組実績：
 ・アクティビティ開発30件 ・ツアープログラム開発10件
 ・ツアープログラム試行1回実施(参加者4人)
 ・キャンプツアー5回実施(参加者38人)
 ○取組主体：(一社)くりはらツーリズムネットワーク(連携：くりこま高原自然学校)
 ○事業費：4,939,527円(うち補助金充当額4,949,000円)
 ※申請者多数で交付先を多くするため申請額1,000万円に対し決定額500万円で交付決定

1 収入

No	項目	金額	摘要
1	補助金	4,939,000	国立・国定公園への誘客の推進事業費及び国立・国定公園、温泉地でのワーケーションの推進事業費補助金
2	自己資金	527	
	計	4,939,527	

2 支出

No	項目	金額	摘要
1	人件費	2,183,992	1,245円×952時間=1,185,240円 1,058円×944時間=998,752円
2	業務費	2,755,535	
	備品費	1,736,775	E-BIKE(235,367円×5台) スノーハイク(36,550円×11台)
	賃金	1,015,680	1,058円×960時間=1,015,680円
	雑役務費	3,080	振込手数料
	計	4,939,527	

【購入した物品(取得財産)】

OE-BIKE「FUJI FARPOINT」5台

- ・金額1,176,835円(258,904円/台×5台) ・購入日：2020年10月30日
 ・耐用年数：2年 ・保管場所：こんちゅう館

○スノーハイク「BLUEMORIS スノーハイク」11台(組)

- ・金額：442,255円(40,205円×11台) ・購入日：2020年12月25日
 ・耐用年数：3年 ・保管場所：くりこま高原自然学校

令和2年度
事業報告書
収支決算書



栗原市農泊推進協議会

(事務局) 一般社団法人くりはらツーリズムネットワーク
〒989-5504 宮城県栗原市若柳上畑岡敷味 45 番地
Tel. 090-4889-5310
Email kurihara.tn@gmail.com